

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 ペットゴー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7140 URL <https://corp.petgo.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒澤 弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 佐藤 建史 (TEL) 03-5333-2830
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	10,025	3.9	236	43.0	230	50.8	153	45.8
2022年3月期	9,650	2.1	165	65.3	152	35.4	105	47.8

(注) 包括利益 2023年3月期 153百万円(45.8%) 2022年3月期 105百万円(47.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	85.78	84.24	22.1	8.3	2.4
2022年3月期	87.89	—	26.1	6.4	1.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

(注) 当社株式は、2022年4月28日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から2023年3月期連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	3,075	935	30.4	507.75
2022年3月期	2,488	454	18.3	380.20

(参考) 自己資本 2023年3月期 935百万円 2022年3月期 454百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△244	△11	317	844
2022年3月期	△220	△6	147	782

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	10,906	8.8	269	14.1	261	13.4	182	19.3	99.28

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	1,842,300株	2022年3月期	1,196,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期	83株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	1,787,232株	2022年3月期	1,196,200株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	10,000	3.6	230	62.1	225	73.1	148	66.4
2022年3月期	9,652	2.1	142	62.2	130	29.0	89	43.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	83.20		81.24					
2022年3月期	74.70		—					

(注) 当社株式は、2022年4月28日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から2023年3月期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
2023年3月期	3,017	—	895	—	29.7	—	485.96	
2022年3月期	2,449	—	419	—	17.1	—	350.47	

(参考) 自己資本 2023年3月期 895百万円 2022年3月期 419百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年5月18日（木）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

また、当社の連結業績は個別業績が占める割合が大きく、個別業績予想の開示については有用性が乏しいと考えられるため、当期より開示を省略しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く経済環境は、資源価格上昇等による物価への影響はあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、個人消費は緩やかに増加しております。一方で、当社グループの主たる商品であるペットフードやペット用品は犬猫の日常生活に必要な消費財であるため、景気による影響を受けにくい商品であります。

当社グループが属するペット業界におきましては、犬の飼育頭数が減少傾向、猫の飼育頭数は増加傾向であります。また、1年以内新規飼育者の飼育頭数は、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、犬猫ともに増加傾向にあります。また、医療技術の進歩やペットオーナーのペットに対する意識が変化しており、ペットの平均寿命が長くなると同時に、総世帯平均のペット関連年間支出額も増加傾向となっており、「新規飼育頭数の増加」、「ペット関連支出の増加」及び「犬猫の平均寿命の伸長」により、ペット市場は今後も堅調に推移していくことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは「ハッピーペットライフ・ハッピーワールド〜ペットライフを幸せに・世の中を幸せに」という当社のスローガンを実現すべく事業に取り組んでまいりました。

ペット用品においても、原材料価格の高騰や円安等を起因として、数多くのナショナルブランド商品の値上げが行われた状況の中で、D2Cブランド製品への戦略投資を強化するとともに、自社オンラインサイトの決済方法拡充や販促投資を継続して実施した結果、2023年3月末のアクティブ購入者数(*1)は58万人、累計ユニーク購入者数(*2)は224万人となりました。

サブスクコマースは、お客様の利便性向上に向けた機能改善を継続して実施した結果、自社オンラインサイトに占める定期購入の比率は50%まで増加しております。

D2Cブランド製品は、新規製品の上市による品揃えの拡充や広告販促投資を継続して実施した結果、D2Cブランド製品の売上高は大きく成長しました。

また、関西に物流センターを開設し外部に業務委託することによって、増加する取り扱い物量に対応するとともに、物流業務の安定性及び生産性の向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は10,025,636千円（前連結会計年度比3.9%増）、営業利益は236,143千円（前連結会計年度比43.0%増）、経常利益は230,470千円（前連結会計年度比50.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は153,301千円（前連結会計年度比45.8%増）となり、増収増益となりました。

なお、当社グループは、ペットヘルスケア事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

・ 自社オンラインサイトと他社オンラインモール等別の売上高

(単位：千円)

販売経路別	2022年3月期	2023年3月期	増減額
自社オンラインサイト	2,388,013	3,182,868	794,855
他社オンラインモール等	7,262,223	6,842,768	△419,455
合計	9,650,237	10,025,636	375,399

・ 自社オンラインサイト内の都度購入及び定期購入の売上高

(単位：千円)

購入形態別	2022年3月期	2023年3月期	増減額
都度購入	1,408,060	1,596,623	187,563
定期購入	979,953	1,587,245	607,292
自社オンラインサイト合計	2,388,013	3,182,868	794,855

<用語解説>

*1 アクティブ購入者数

過去1年間において当社のいずれかのオンライン店舗を1回以上利用した顧客数のこと、同じ顧客が期間内に何度購入されても、また複数の店舗を併用してもカウント数は1となります

*2 累計ユニーク購入者数

過去に当社のいずれかのオンライン店舗を利用した顧客数のこと、同じ顧客が期間内に何度購入されても、また複数の店舗を併用してもカウント数は1となります

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して、587,702千円増加し、3,075,734千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して、581,928千円増加し、2,993,327千円となりました。これは主に、売上の増加に伴い商品が383,834千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して、5,773千円増加し、82,406千円となりました。これは主に、一時差異の増加により繰延税金資産が11,234千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して、107,097千円増加し、2,140,339千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して、260,150千円増加し、2,049,698千円となりました。これは主に、資金需要に応じて調達を行ったことにより短期借入金182,665千円、課税所得の増加によって未払法人税等57,632千円とそれぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して、153,052千円減少し、90,640千円となりました。これは主に、資金需要に応じて調達を行ったことにより長期借入金153,324千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、480,604千円増加し、935,394千円となりました。これは、主に公募増資と第三者割当増資によって資本金及び資本剰余金がそれぞれ163,698千円増加したこと及び親会社株主に帰属する当期純利益153,301千円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比べ61,175千円増加し、844,062千円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、244,264千円の支出（前連結会計年度は220,673千円の支出）となりました。これは主に、増加要因として、税金等調整前当期純利益の計上230,470千円（前連結会計年度比77,668千円増加）があった一方で、減少要因として、棚卸資産の増加額385,715千円（前連結会計年度は棚卸資産の増加額248,193千円）があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、11,883千円の支出（前連結会計年度は6,360千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出11,233千円（前連結会計年度は有形固定資産の取得による支出5,460千円）があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、317,322千円の収入（前連結会計年度は147,959千円の収入）となりました。これは主に、減少要因として、長期借入金の返済による支出191,950千円（前連結会計年度は長期借入金の返済による支出217,410千円）があった一方で、増加要因として、短期借入金の増加額182,665千円（前連結会計年度は16,049千円の増加）及び株式の発行による収入327,397千円（前連結会計年度は株式の発行による収入なし）があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2024年3月期におきましても、当社の強みであるペットデータ及びDXプラットフォームを活用し、マルチコマース、サブスクコマース、D2Cブランドをそれぞれ強化し持続的な成長を目指してまいります。

具体的には、新規店舗の出店や既存店舗を含めた継続的な広告販促投資によって顧客基盤を拡大し、リピート売上比率の高い安定した基盤を強化することに加えて、サブスクコマースでの認知度向上に向けた広告販促投資を行い売上の成長を目指してまいります。

また、D2Cブランド製品を継続的に開発、上市すること及びD2Cブランド製品の成長のための広告販促投資を行い、利益率の改善を図ってまいります。

以上から、2024年3月期の連結業績予想としましては、売上高は前連結会計年度比8.8%増加の10,906,884千円、営業利益は269,400千円を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間の比較可能性等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	782,886	844,062
売掛金	653,256	645,442
商品	930,595	1,314,430
貯蔵品	4,449	6,330
その他	40,210	183,061
流動資産合計	2,411,399	2,993,327
固定資産		
有形固定資産		
建物	47,671	50,587
車両運搬具	4,661	5,261
工具、器具及び備品	63,969	70,826
リース資産	3,428	3,428
減価償却累計額	△80,689	△94,892
有形固定資産合計	39,041	35,210
無形固定資産		
ソフトウェア	3,416	2,256
その他	333	152
無形固定資産合計	3,749	2,408
投資その他の資産		
繰延税金資産	10,800	22,034
その他	23,040	22,751
投資その他の資産合計	33,841	44,786
固定資産合計	76,632	82,406
資産合計	2,488,031	3,075,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	827,383	801,500
短期借入金	473,999	656,664
1年内返済予定の長期借入金	191,950	153,324
リース債務	696	712
未払法人税等	21,396	79,029
未払金	212,734	245,352
賞与引当金	20,935	48,771
その他	40,453	64,345
流動負債合計	1,789,548	2,049,698
固定負債		
長期借入金	216,634	63,310
リース債務	954	241
資産除去債務	24,633	26,248
その他	1,471	840
固定負債合計	243,693	90,640
負債合計	2,033,241	2,140,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,740	443,438
資本剰余金	236,739	400,438
利益剰余金	△61,690	91,610
自己株式	—	△93
株主資本合計	454,789	935,394
純資産合計	454,789	935,394
負債純資産合計	2,488,031	3,075,734

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	9,650,237	10,025,636
売上原価	7,076,410	7,178,271
売上総利益	2,573,826	2,847,365
販売費及び一般管理費	2,408,678	2,611,222
営業利益	165,148	236,143
営業外収益		
受取利息	9	10
受取賃貸料	23,156	23,606
その他	2,990	1,704
営業外収益合計	26,156	25,322
営業外費用		
支払利息	7,230	7,233
支払賃料	22,328	22,778
その他	8,944	984
営業外費用合計	38,503	30,995
経常利益	152,801	230,470
税金等調整前当期純利益	152,801	230,470
法人税、住民税及び事業税	42,085	88,403
法人税等調整額	5,586	△11,234
法人税等合計	47,672	77,168
当期純利益	105,128	153,301
親会社株主に帰属する当期純利益	105,128	153,301

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	105,128	153,301
その他の包括利益	—	—
包括利益	105,128	153,301
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	105,128	153,301

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	279,740	236,739	△167,172	—	349,307	349,307
会計方針の変更による 累積的影響額	—	—	353	—	353	353
会計方針の変更を反映し た当期首残高	279,740	236,739	△166,819	—	349,660	349,660
当期変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	105,128	—	105,128	105,128
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	105,128	—	105,128	105,128
当期末残高	279,740	236,739	△61,690	—	454,789	454,789

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	279,740	236,739	△61,690	—	454,789	454,789
当期変動額						
新株の発行	163,698	163,698	—	—	327,397	327,397
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	153,301	—	153,301	153,301
自己株式の取得	—	—	—	△93	△93	△93
当期変動額合計	163,698	163,698	153,301	△93	480,604	480,604
当期末残高	443,438	400,438	91,610	△93	935,394	935,394

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	152,801	230,470
減価償却費	15,196	18,380
受取利息	△9	△10
支払利息	7,230	7,233
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,017	27,835
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,151	7,813
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△248,193	△385,715
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,604	△25,883
未払金の増減額 (△は減少)	1,270	32,268
その他	△18,291	△111,708
小計	△140,560	△199,316
利息の受取額	9	10
利息の支払額	△7,386	△7,246
法人税等の支払額	△72,736	△37,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	△220,673	△244,264
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,460	△11,233
無形固定資産の取得による支出	△900	△550
その他	—	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,360	△11,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16,049	182,665
長期借入れによる収入	350,000	—
長期借入金の返済による支出	△217,410	△191,950
株式の発行による収入	—	327,397
自己株式の取得による支出	—	△93
リース債務の返済による支出	△679	△696
財務活動によるキャッシュ・フロー	147,959	317,322
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△79,074	61,175
現金及び現金同等物の期首残高	861,961	782,886
現金及び現金同等物の期末残高	782,886	844,062

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ペットヘルスケア事業及びこれに関連する各種サービスを提供する単一の事業を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	380円20銭	507円75銭
1株当たり当期純利益	87円89銭	85円78銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	84円24銭

(注) 1. 2021年12月4日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算出しております。

2. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、前連結会計年度の末日において、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

3. 2022年4月28日に東京証券取引所グロス市場へ上場したため、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当連結会計年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	105,128	153,301
普通株主に帰属しない額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	105,128	153,301
期中平均株式数(株)	1,196,200	1,787,232
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	32,580
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権11種類 (新株予約権の数1,661個)	—

5. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	454,789	935,394
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	454,789	935,394
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末株式数(株)	1,196,200	1,842,217